

はじめるネット

2023年(令和5年)

6月 通算第22号

新年度 予算成立

3月議会の予算特別委員会で、2023年4月～24年3月にあたる「令和5年度一般会計当初予算(176億5,500万円)」の審査が行われました。私も3日間がんばって、たくさん質問をしました。私の要望が今年度予算で実現した新規事業を、ご報告します。



二上山ふるさと公園

●葛城市議会議員

はじめ
吉村 始

実現
1

公園を
バリアフリーに！

昨年9月議会で要望

車イスやベビーカーなどで公共施設を利用するときに、段差があって通れない場所があります。二上山ふるさと公園の芝生広場の出入り口もその一つでしたが、階段のスロープ化が決定しました。

実現
2

「立体」路面サイン
市内初導入！

昨年3月議会で要望

生活道路を通る車の減速対策として、運転者から立体に見える路面標示の一種「イメージハンプ」を大字疋田と東室地区の5箇所に設置します。新庄北小学校区からの要望が実現しました。効果を確認のうえ、今後ほかの地区への設置も検討します。



実現
3

特殊詐欺対応
電話機に補助金！

2020年3月議会で要望

高齢者を狙った特殊詐欺が社会問題に
購入代金の一部を補助します(上限1万円)。



安心して
電話に
出られるわ！

窓口：生活安全課
0745-44-5011

来年秋 供用開始予定

尺土駅エレベータ
設計完了！
いよいよ工事へ

尺土駅舎の南側に設置予定のエレベータ。今年3月までに詳細設計が完了。近鉄に施工を委託します。6月中旬に協議が整い、いよいよ着工です。コロナ禍やウクライナ情勢などの影響で資材確保に遅れが発生。供用開始は、来年10月頃の見通しです。



尺土駅

2022年

12月議会 一般質問 (12月9日)

動画はこちら▶



※今年3月の一般質問
「緊急時通報カードの導入」
「まちづくりビジョン」
は次号に掲載いたします

ワクチン接種に不安の声

昨年秋に乳幼児への新型コロナワクチン接種の報道が流れると、市民の方から何度も、接種後の後遺症について不安の声を聞くようになりました。ワクチン接種には「利益」と同時に「危険性」が指摘されており、子どもへの接種は大人への接種以上に丁寧な説明が必要です。行政には、市民の不安軽減のために、ワクチン接種の危険性を訴える報道やネット情報などにアンテナを張ってほしいとお願いし、参考図書も紹介しました。

ワクチン接種にご協力いただいている医師会、看護師、市職員など関係者の皆様に感謝します。



山岡淳一郎著
『ルポ 副反応疑い死
—ワクチン政策と薬害
を問いなおす』
ちくま新書1701



まちづくりに市民参加を

當麻文化会館を図書館や庁舎などが入る複合施設に大改造する計画が進んでいます。市民が有効かつ長く使用できる施設にすべきであり、市は丁寧に住民の声を聞くべきです。評価の高い他市の実例も紹介しました。阿古市長は「ご指摘のとおり住民の声を聞くことが大切」と答弁。市民の多様な意見の反映を、と要望しました。

生活保護しおりの改善を

弁護士などで行う「奈良県の生活保護行政をよくする会」の調査で、葛城市の「しおり」の記載に他市と比べて説明不十分な箇所があることがわかりました。生活保護は日本国憲法第25条の理念に基づき、国が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度です。市からは「記載の改善を進める」という答弁がありました。

学習会のおしらせ

「ひとを育て、まちを育てる図書館づくりとは」

私も事務局の一員である「図書館とまちづくり・奈良県・ネットワーク」主催の学習会を開催します。當麻文化会館の複合施設化の議論が進むなか、上記の演題で、住民と行政の連携・協働が生み出す「交流と賑わい」について、京都橘大学文学部教授の嶋田学先生（司書課程）にご講演いただきます。活気あるまちづくりを進めるため、ぜひご参加ください。



嶋田学先生

日時：7月16日(日) 午後2時～
場所：當麻文化会館 中研修室
(入場無料／予約不要)

★本紙は、家族とともに手配りでお届けしています。ご希望の方には、郵送も行っています。

街頭での配布予定日 尺土駅南側（第1、第3水曜日）、近鉄新庄駅（第2火曜日）、磐城駅（第2水曜日）、忍海駅（第4水曜日）。
(毎月) (6:30～7:45) 予定どおり立つようにしていますが、天候や祝日、仕事などの理由で別の日に振り替えるときがあります。



バックナンバーはこちら▶

<https://www.hajimerunet.com>



発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379 電話&FAX 0745-69-7590